

総務産業委員会報告書

平成28年6月23日

備前市議会議長 鵜川晃匠 殿

委員長 山本恒道

平成28年6月23日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

記

案 件	審査結果	少数意見
議案第76号 備前市営駐車場条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	なし
議案第81号 平成28年度備前市宅地造成分譲事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	なし
議案第84号 畠田香登西企業用地造成工事の請負契約締結について	原案可決	なし

<委員会発議案>

- 市役所庁舎建設に関する調査特別委員会の設置について

<所管事務調査>

- 香登地内の市道について
- 観光振興計画について
- 鹿久居島の環境公園化構想等について
- 備前商工会議所及び備前東商工会への補助金適正化について
- 新規事業の進捗状況について

<報告事項>

- 全国アマモサミットについて (まち産業課)
- 日生地内の下水道管破損事故について (上下水道課)

《 委員会記録目次 》

招集日時・出席委員等	1
開会	2
議案第76号の審査	2
議案第81号の審査	4
議案第84号の審査	6
報告事項	9
所管事務調査	10
閉会	22

総務産業委員会記録

招集日時	平成28年6月23日(木)	午前9時30分		
開議・閉議	午前9時30分	開会 ～	午後1時51分	閉会
場所・形態	委員会室A・B	会期中(第4回定例会)の開催		
出席委員	委員長	山本恒道	副委員長	森本洋子
	委員	田原隆雄		尾川直行
		津島 誠		守井秀龍
		石原和人		
欠席委員		なし		
遅参委員		なし		
早退委員		なし		
列席者等	議長	鵜川晃匠		
	委員外議員	なし		
	紹介議員	なし		
	参考人	なし		
説明員	まちづくり部長	中島和久	まち産業課長	小川勝巳
	まち営業課長	田原義大	まち整備課長	平田惣己治
	上下水道課長	藤森 亨		
	日生総合支所長	星尾靖行	吉永総合支所長	金藤康樹
傍聴者	議員	橋本逸夫	掛谷 繁	立川 茂
		山本 成	星野和也	
	報道関係	山陽新聞		
	一般傍聴	なし		
審査記録	次のとおり			

午前9時30分 開会

○山本委員長 おはようございます。

ただいまの御出席は7名です。定足数に達しておりますので、これより総務産業委員会を開会いたします。

本日の委員会は、まちづくり部ほか関係の付託議案の審査と所管事務調査を行います。付託されました議案の審査が終わりましたら委員会を休憩し、予算決算審査委員会の総務産業分科会を開催し、議案第80号の審査を行います。分科会后、委員会を再開いたしますが、所管事務調査に先立ち、執行部からの報告事項をお受けいたしますので、よろしくをお願いします。

なお、議会構成後、まちづくり部関係議案等を審査する初めての委員会となりますので、部長から委員会に出席いただく説明員の御紹介を願います。

まちづくり部長から関係職員を紹介

以上で説明員の紹介が終わりました。

それでは、直ちに本委員会に付託されました議案の審査を行います。

***** 議案第76号の審査 *****

議案第76号備前市営駐車場条例の一部を改正する条例の制定についてを議題といたします。

質疑のある委員の方がおられましたら。

○尾川委員 香登駅南駐車場が入るようになりますが、長船とか邑久とかの和気と比較ではどんなですか。

○平田まち整備課長 こちらも調査不足のところがあるんですけども、長船駅前にひとつ大きな駐車場がございます。こちらについては一応料金を把握しておりまして、こちらは、時間がふえるほど料金がふえていくというようなシステムになっているようでございます。例えば30分までは無料で、30分を超えて1時間までが100円、1時間を超えて3時間までが200円というぐあいだんだんふえていくシステムになっておりまして、それに対しまして、設置しようとしております駐車場は、既に頭島とそれから吉永駅前にも一般駐車場があるんですけども、そちらと同料金にしようと考えております。これが24時間以内で1回400円、一律400円という料金で考えておりますから、そのあたりで駐車時間によってやはり料金が変わってくるということになるかと思っておりますので、短時間であれば長船駅のほうが当然有利になるわけなんですけれども、一定時間を超えてくると逆にこちらのほうが若干有利になるということで、電車の便数とか、ほかの要因もあるので一概には言えないかと思っておりますけども、ちょっとした料金の違いでも今長船を利用されている方がそこら辺を使い分けて、香登のほうを利用していただけるといことになれば非常にありがたいと思っておりますのでございます。

○尾川委員 その辺りどうしても長船との前比較の問題があって、やはり便数も多いし、結構利用者が多い、台数なんかも比較してどれくらいになるんか、駐車場の使用台数の予想はしとんですか。

○平田まち整備課長 正直そのはっきりした見込みというのは持ってございません。もともとの打ったてが市なりにいろんな効果を考えてということもあるんですけども、以前に地元の意見交換などから地区の方からも強い要望が出ておりましたので、それを受けてといったこともございます。そうしたことで、地区から要望が出るということはやはり一定のニーズがあるんじゃないかと考えておりますし、実際ふたをあけてみないとわからない部分もあるんですけどもある程度の合意はいただけるんじゃないかと考えております。

○津島委員 この駅の南へ駐車場をつくと、どうやって駅へ入るのかな。

○平田まち整備課長 おっしゃられるとおおり、駅へのアクセスというのがひとつ課題にはなるうかと思えます。今つくっている駐車場の西側に、ちょうど赤穂線の下をくぐる隧道がございます。図面をお配りしているのを見ていただけたらと思うんですけども、図面の左側あたり、駐車場の端の部分に上へ向いていく道の絵があると思えますけど、これが赤穂線の下をくぐっていく道でございます。赤穂線をくぐってすぐ右側へ、JRののり伝いに駅のほうへ上がっていくスロープがございます。こちらをまずは利用していただくようになるんじゃないかというふうには思えます。現状では、舗装もない土の道ですので、この部分についても当然何らかの整備をする必要があるというふうに考えておまして、ただ現在は駐車場そのものを早く完成をして供用開始をしたいという思いでそちらに全力を傾注しておりますので、ある程度見込みが立った段階で、今言いました周辺の整備ということでそのスロープの整備なども進めていきたいと考えているところでございます。

○津島委員 そうじゃな、これ、平面図を見たら16台ぐらいしか置けんの、ここへ車で行く人も難儀な話です。ようこねえな計画をうのみにしてやったもんじゃとあきれとんですけど、やりかけたものはしょうがねえ。あそこはガード下なんか、治安が悪いから、警察上がりの人によよう見回りをしてくれというのを課長のほうから言うといってください。

○平田まち整備課長 御指摘の点、ごもっともだと思います。夜になると真っ暗で、周辺に人がいない、家もないという状況でございますので、照明をつけたり、それから危機管理をお願いをしているんですけど、防犯カメラの設置なども考えております。今言われたように、警察との連携というようなことも必要に応じては対策を考えていきたいと思えます。

○田原委員 この条例案と直接関係ないんですけど、この図面を見せてもらおうと東側にかなりのスペースがあるんですが、それを将来広げていくような構想はあるんでしょうか。

○平田まち整備課長 おっしゃられますとおおり、東へ東へかなりまだ用地に余裕がございます。全部使えば、今の台数の3倍近くとれるんじゃないかと思うんですけども、先ほど尾川委員の質問に対しましてお答えをしましたように、利用の程度がどの程度になるとかというはっきりした見込みがないという中で、最初に余りたくさんつくってしまっただけの状態ばかりになるようであれば非常に無駄な投資にもなりますし、とりあえず16区画ということでつくらせていただいて、状況を見ながら、利用が多いようであれば、また追加施工ということも検討をしたいと考

えているところでございます。

○石原委員 現在の計画では16台のようですけれども、利用される方々の駐車料金の支払いはどういう形で徴収することを想定されとんでしょう。

○平田まち整備課長 自動精算機というものを置くような予定にしております。今も、一般駐車場では、日生の頭島の駐車場、A、Bと2つあるんですけども、こちらと、それから吉永駅前駐車場、ここらあたりはこの自動精算機というものを置いて精算をしていただいております。ゲート式だとか、フラップ式といったようなものにすれば非常に料金の徴収なども確実ではあるんですけども、設備投資が非常に大きな金額になるということで、そのあたりの兼ね合いでこの自動精算機というものを置くように考えているということでございます。

これは、実際、駐車場へ来られましたら、まず事前にここで料金を払っていただいて、入れていただくと機械のほうから駐車券が出てきます。これを車のフロントガラスのよく見えるところへ置いていただいて駐車をしていただくという、そういう方式になっております。それにつきましては、うちのほうでも時々現場へチェックには行っておりますので、できるだけ無断駐車とかといったことの防止には努めているところでございます。

○石原委員 それから、先ほども出ましたけれども、この駐車場の東側がかなり木が生い茂ってもうジャングルのように長年なっています。そのまた東には、一区画、予定されとる企業用地もございましょうし、環境美化等の面からも、JR等にしっかり環境保全、それからより強い姿勢で、あの周りが少しでもきれいになるように要望をお願いしたいと思います。よろしく願います。

○平田まち整備課長 御提言ありがとうございます。JRにしっかりと要望していきたいと思えます。

○山本委員長 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑がないようですので、質疑を終了してよろしいか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより議案第76号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、議案第76号は原案のとおり可決されました。

以上で議案第76号の審査を終わります。

***** 議案第81号の審査 *****

続いて、議案第81号平成28年度備前市宅地造成分譲事業特別会計補正予算（第1号）について質疑のある方はどうぞ。

○石原委員 つつじが丘のどのあたりだったでしょうか。

○平田まち整備課長 5月の総務産業委員会で資料をお渡ししていると思うんですけども……。

○石原委員 わかりました。

○平田まち整備課長 濟いませぬ。よろしく願いいたします。

○津島委員 苦肉の策でここを造成したんじゃけえど、今全区画売却したんですか。

○平田まち整備課長 今現在、あと一区画だけ残っているという状況でございます。

○津島委員 それで、このたびは、これは2区画分ですか。

○平田まち整備課長 今回、予定をしております区画が2、600平米ほどございまして、ここで委託料をいただいて造成の計画を発注するようになりますので、それによってどの程度区画がとれるかというのはあるんですけども、大体6つから8つぐらいはとれるのではないかなというふうに考えているところでございます。

○津島委員 今回用地買収する予定地の周りは全部市有地とわかるんですけど、これで今回買ったところを用地買収ができれば、このつつじが丘は全て完了なんじゃな。

○平田まち整備課長 買収予定地ということでひし形になった土地があると思います。1025の2番地、この部分が結局以前から地権者の方の御事情で買えなかった部分なんですけども、今回話ができそうだということで、この1筆を買います。その周辺は既に市のものになっておりますから、この1筆だけを買えば全て市有地ということで一体的に造成ができるということでございます。

○津島委員 土地はあっても、なかなか土地が売れぬので20年ぐらいあずりよるかな、ここも。極力鋭意努力して早う売って、えろう損のないようにしていただきたいと思います。

○平田まち整備課長 御指摘のとおり、つつじが丘は全部で70区画ほどあるんですけど、分譲の開始が平成8年ごろからだったんで、ほぼ完売が近くなっているとはいえ、20年ほど売却にかかったということでございます。投資をする以上はできるだけ早く回収ということで鋭意努力はしたいと思います。

ただ、経済の状況等々、いろんな条件にもよりますし、それから民間企業であれば、やはり投じたお金は早く回収をしろということで一定期間内に売り尽くしてしまうということを考えるんですけども、行政の場合は、なかなか必ずしもそうでない部分もあるのではないかなというふうには思います。景気が低調になってくるとなかなか民間の造成とかもなくなりますし、そういった状況の折に、行政であれば、ストックを持っていれば、宅地を求める方に提供をできるといったようなこともあろうかと思っておりますので、しっかりと分譲の努力はしますけども、少し長い目で見ていただけたらというふうにも思います。

○尾川委員 立ち入ったことをお聞きするんですけど、この2、600平米、今になって譲渡したいというような話になってきたと思うんです。その辺は、もう、市としたら、やはり売ってくれというような話をしようたん。それとも、向こうから、外堀を埋めてしもうとるからそうい

うふうな状態になったのか、どういう状況でこういう形になってきたのか。20年ほどかかると
という説明もあったんですけど、そのあたりが教えてもらえたら。

○平田まち整備課長 地権者の方の御事情というのが、相続の関係でございまして、それがなか
なか話が見つからないので、中心になっておられる方、当時から売りたいという気持ちは持っておら
れたんですけど、そうした事情でできないと、逆にそこら辺のお話がきっちりできて売れるよう
な状況になったら、また御連絡くださいというような話にしていたところが、最近になって、う
まいぐあいの方がついたということで御連絡があったので、買わせていただくという話になった
ものでございます。

○山本委員長 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、質疑を終了してよろしいか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、質疑を終了いたします。

これより議案第81号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、議案第81号は原案のとおり可決されました。

以上で議案第81号の審査を終わります。

***** 議案第84号の審査 *****

続いて、議案第84号畠田香登西企業用地造成工事の請負契約締結について、何か質疑はあり
ませんか。

○津島委員 6月18日土曜日の山陽新聞を読ませていただいたんですけど、スイキュウさんに
分譲というのが決まったらしいんですけど、分譲価格が未定というので、この28日にいよいよ
締結するらしいんですけど、その点を教えていただきたいと思います。何でもものを買うときに、
相場がわからんのに買うというのは難しいんじゃないかと思えますけど。

○田原まち営業課長 岡山スイキュウさんとの売買の件でございまして、売買価格については、
今のところ確定はしてないということで、未定としております。

ただ、スイキュウさんとの話では、オーダーメイド方式で当初から進めており、基本的には、
用地費、あと工事費、その他の造成に係る測量設計費用ということでお話をしております。

○津島委員 オーダーメイドとはどういうことでしょうか。

○田原まち営業課長 企業の御希望に沿った形で造成するという意味でございまして。

○津島委員 そうしたら、企業サイドで坪単価が決まるということでしょうか。

○田原まち営業課長 当初お話をしているのは、用地費とかかった工事費、測量設計費が対象に
なると話をしております。

○津島委員 それで、スイキュウさんは、納得されとんでしょうか。

○田原まち営業課長 合意をさせていただいております。

○津島委員 物事は売り手と買い手がおるんで、売り手は高えほうがええし、買い手は安いほうがええというのが相場ですけど、これ、まだ造成の、入札はこの間1億二千五、六百万円で、業者が決まっとなですけえど、土をどっから持ってくるんか、運び賃が何ぼかかるんか、ようわかりませんけえど、28日、あと5日しか期限がねえけど、これ、立地協定の締結がええところいくんでしょうか。実印をつけてからこういう発表をしたほうがええんじゃねえんかと思えますけど、どうですか。

○田原まち営業課長 立地協定というのは紳士協定でございまして契約ではございません。こういう形で造成をしていくと、正式には土地の売買というのは、売買契約ということになります。協定に基づいてこういった工事をして、最終的には売買契約ということになります。

それで、スイキュウさんからの要望なんですけど、工事費をできるだけ安く抑えてほしいということで、市のほうでも、公共残土を造成に使うことにより造成費用が減額される可能性がございます。その場合は、工事費が減額となるということになります。そういった希望も絡めて、まだ工事費は確定いたしませんので、売買の金額についても変動があるというふうに御理解ください。

○津島委員 売買契約は、いつごろの話にしようかと思ひよんでしょうか。

○田原まち営業課長 工期を3月末としております。それ以降、確定測量等をいたしまして、来年中ぐらいには売買契約にこぎつけたいという思いではございます。

○津島委員 5日後に立地協定を締結して、その後スイキュウさんとよう話をしてみても、売買契約がうまい調子にいくように努力をしていただきたいと思います。これはこじらせたらえらい目に遭いますぞ。よう気をつけられよ。

○田原まち営業課長 そのように進めてまいりたいと思います。

○田原委員 今回の議案は、工事の請負契約なんですね。これで工事費が決定です。あとは大体、測量だけなんですね。これだけの土地を測量したらおよそ幾らだということは当然、先方ははじいとると思うんですよ、買うほうはね。売るほうは、どんなですか。

○田原まち営業課長 測量も今までにやっております。その工事費等を累計しますと4億数千万円程度と考えております。

ただ、これからの変動がございますので、そのあたりは金額に変更があると考えております。

また、県のほうでは、造成が完了した段階で再度鑑定評価を行って売買単価を確定し売買を締結することも行っているようですので、そのあたりのことも考慮に入れながら進めてまいりたいと考えております。

○田原委員 それは、さっきの答弁と違う。さっきは、用地費プラス工事費プラス測量ということを答弁した。今出てきたのは、鑑定評価でということになったんで、それをもとに鑑定評価で

売るのでええなら鑑定評価で売るという答弁をせんと答弁に矛盾があるんよ。

○田原まち営業課長 失礼しました。基本的には、オーダーメイド方式ですので、そちらのほうで考えていきたいと考えております。

○守井委員 2ページのところで、結局最低価格より下位の入札になって、最低制限価格を超えた業者は1社だけで、あとの業者は全て落札に応じられないことになったんですか。

○田原まち営業課長 有効な落札金額が1社だけだったということになります。

○守井委員 はい、わかりました。

○田原委員 まず今の市場がそうなんだということをやはり敷札を設定するには、よく検討していただきたいなという提案を要望しておきます。

○平田まち整備課長 この入札結果なんですけども、結局今の入札制度では、最低制限価格の設定の仕方というのが、85%から86.5%という1.5%〔後刻「85.5%から86.5%と1%」と訂正あり〕の範囲で電子くじというくじで決定をされるようなシステムになっているんです。だから、入札ごとに最低制限価格がやってみないと幾つになるかわからないと。その結果として、今回たまたまそのくじの結果が高目に出たので失格者がたくさん出たということなんです。これが、応札しているその札が85%未満になることはあり得ないので、85%未満で応札をしているような業者がいれば、それは設計金額が適当でなかったんじゃないかとか、それから業者のほうの見込みが違ったんじゃないかというようなことも言えるのかもしれませんが、この結果では全て85%〔後刻「85.5%」と訂正あり〕から86.5%の範囲への業者も入っておりますから、失格者がたくさん出たというのは、たまたまのくじの結果だということで、入札自体は適正なものですし、設計金額や予定価格の設定ももう適正なものだったということが言えようかと思えます。

○田原委員 素朴な市民感覚でそういう結果を見たら、もうちょっと安く落とせる方法はなかったのかなと思うと言うようんでね、その辺を工夫してほしいという要望です。

本件について、以前から河川のしゅんせつ土を入れて工事費を安くしてはどうかという提案も議会側からありました。これは、いろいろ問題があつてだめだということ。それから、岡山市の道路工事の残土を無償でもらうんだとかというような話がいろいろありました。そういう中で、最終的に今回造成工事を契約したんでしょうから、岡山市での無償の残土がもらえたのかどうかをお尋ねしておきます。

○田原まち営業課長 昨年度、一部土をいただいてやっております。今年度につきましても、工事に関して、岡山市あるいは岡山県等に出向きましてお願いをしてまいろうと考えております。

○田原委員 ということは、この工事の設計は、どうなっているわけ。それは、もらえることで設計しているのか、もらえたらまた減額になる可能性があるのか、その辺はどうですか。

○田原まち営業課長 もらえたら減額になる可能性がございます。

○田原委員 はい、わかりました。

○山本委員長 ほかに、この件についてないですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、質疑を終了してよろしいか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより議案第84号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、議案第84号は原案のとおり可決されました。

以上で議案第84号の審査を終わります。

以上でまちづくり部関係の議案審査が終了いたしました。

この際、予算決算審査委員会総務産業分科会のため、暫時休憩します。

午前10時10分 休憩

午前11時16分 再開

○山本委員長 休憩前に引き続き委員会を再開します。

***** 報告事項 *****

それでは、執行部からの報告事項に入ります。

なお、報告に対する質疑は所管事項の中で行います。

○小川まち産業課長 まち産業課から、全国アマモサミットについて報告いたします。

6月3、4、5の3日間、日生市民会館や日生町漁協等で、第9回目の全国アマモサミット2016 in 備前が開催されました。多くの関係者の方の御協力により、全国から過去8回の最多参加者1,000人をはるかに超える約2,000人の方に参加していただき、内容につきましても、事務局といたしましては大成功となったと考えております。

今後は、このサミットを一過性の行動の成功、そして終了として完結させることなく、一遍に多くのことはできませんが、少しずつではありますけれども、この成功を糧にして、今後の備前市の里海、里山資源を活用したまちづくりを進めてまいりたいと考えておりますので、委員皆様の御協力をお願いいたします。

○藤森上下水道課長 上下水道課から1件報告します。

平成28年6月13日、19時50分ごろ、日生の栄町にあるマンホールから水が出ているという連絡がありました。職員があたりのマンホールを全てあけ調査したところ、はましん、日生青果の前、国道250号に埋設してある400ミリのコンクリートヒューム管が土砂で閉塞していました。すぐ近くにある東備建設に依頼し、仮設ポンプを設置し、午前0時ごろから排水ができるよう処置を行いました。その後、管の中をカメラで調査した結果、硫化水素の影響で管に穴があいており、そこから土砂が流出しておりました。

また、交通規制をし、22日から復旧工事を始めましたが、海水の流入が多く、掘削が難しいため、矢板打ち込み、薬注工法など、慎重に検討する必要があるため、復旧までにまだ時間がかかると考えております。御迷惑をおかけしております。

○山本委員長 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、所管事務調査に入ります。

***** 所管事務調査 *****

○尾川委員 香登4号線絡みでいろいろお聞きしたいんですけど、私が聞いとんのが、ベアリングの間にトレーラーみたいなのが多ゆうて、要するに二ノ樋を赤穂線越えて、それからベアリングの前へ入る道なんか、結構車が大きゅうなつとるから、そのあたりのことも何年もかかるんじゃないら、そっちの整備とか、それから都市計画の絡みもあったり、バイパスとして、香登東を立体交差にするほうが、備前市とすりゃあ県道ですし、ここは市道で、県道じゃったら補助ももらえるんじゃないかと思うたりするんですけど。その辺は、もう少しベアリングとか、あの工業団地全体のイメージから、この香登駅の駐車場も、道の問題が大きいんじゃないかという感じがするんです。ですから、もっと全体像を把握して、特に今もう現実にはベアリングへ入ったりする車をどのぐらいの台数か、結構ベアリングの信号機のところは何かベアリングの土地を譲ってもらうて進めていくぐらいの配慮が必要んじゃないかと思うんですけど、どんなですか。

○平田まち整備課長 御指摘のとおり、ちょうどNTNさんの玄関口のところです。西へ行きますと県道西大寺備前線ですか、そちらとの交差点、その部分が確かに時間的にひどく渋滞をする状況があるようでございます。通勤時間など、NTNの従業員さんが駐車場から一どきに出るので、おまけに県道のほうへ出ていく青信号の時間が短いのでかなり渋滞をすると、そういう中に大型車もまじってくるといったような状況で混乱があるというような状況ではないかと思えます。

NTNさんのほうからもあの交差点を改良してほしいというお話は以前からございまして、場合によっては用地も協力するというふうに言われたというようなことも聞いております。そうしたことを踏まえて、確かにその部分はしっかり検討していく必要があるのではないかと考えております。

十数年前に一度、交差点改良をしようという動きがあったらしいんですけども、当時はなかなか御理解がいただけなくて、結局頓挫してしまったというようにいきさつもあるようなんですけども、改めてそのあたりしっかり考えたいと思いますし、ちょうどあの部分、御指摘のとおり、都市計画道路の線が入っております。東片上畠田線という路線でございまして、ちょうどその交差点から東へ向いていくと、伊部の2号線の南側を通過して、今課題になっております土地区画整理事業の区域内を通過して250号へつながっていくというような形の路線でございまして、ちょうどその東のほうでも区画整理の廃止というものを年数かけながら今少しずつ進めているところ

なんですけども、その中で、この都市計画道路の見直しということも一つ課題としてございます。ですので、そういったこともあわせ持って、この都市計画道路の実施ということ、これからの課題ということでは検討していきたいと思えます。

ただ、今回予定しております香登4号線につきましては、この路線とはまたその趣旨と申しますか、目的としているところが若干違うのかなというところがございまして。周辺企業さん、地元の皆さんにしてもそうですけども、国道2号へ出ていくときに東西の県道の2号線との交差点部分が非常に渋滞をするという、そうしたものへの対応ということもございまして、幾らかそれを分散するというような意味合いでも、そのちょうど間に南北の路線が1本整備をされたものが必要なのかなということで今回予算をお願いして整備を進めていきたいということで考えているところでございまして、それぞれこれは別物ということで検討させていただいたらなというふうには思えます。

○尾川委員 しつこうなりますけど、要するにここの道だけ、4号線だけ整備しても、はげんと思うんですよ、恐らく。信号機がある、踏切の問題もなかなかそう簡単じゃねえから、県道の香登東あたりも、今後の問題としても長期的なビジョンで手を打って行って、とりあえずはベアリングの玄関口の信号機のところは早う対策したほうが、ここの道に手をつけるよりは早えほうがええという考えしとんですけど、私は。

○平田まち整備課長 御意見を踏まえましてしっかり検討させていただきたいと思えます。

○石原委員 この話題になりましたんで、関連なんですけれども、東の県道ですね、あそこも今、同僚議員の御自宅も付近にあつてさんざん実感されとると思うんですけれども、かなり、言うたら、渋滞もひどいですし、赤穂線ととにかく国道が近接して、また国道の南へ向けての拡幅も予定されとるようですので、より赤穂線と2号線の間が狭まるようなことも想定されますんで、それからここ最近の赤穂線からの南の流れなんですけれども、新しい家もふえたり、乳幼児が最近ふえてきまして、あの県道が近々多くの子供さんが通う通学路にもなり得ると思えますんで、現状でああいう状況で大型トラック、トレーラーが頻回に2号線に向けて出てくる道が通学路になることも想定されますんで、本当に優先順位でいきますとかなり高いところじゃないかなと思えますんで、庁内でもしっかり御議論いただいて、積極的に安全のためにも、それから快適な生活のためにもしっかり取り組んでいただきたいという要望をしておきます。お願いします。

○平田まち整備課長 そうですね、御指摘のとおり、これからますますこういったニーズが高くなるんじゃないかと思えます。交通量がふえれば、今現在あの県道も幅員が1.5車線程度ということで、何とか大型が通つてはいるんですけれども、やはり理想からいえば、2車線にして歩道もちゃんと別につけるといような形にできればいいんじゃないかと思えます。課題ということでしっかり踏まえまして県とも協議していきたいと思えます。

○山本委員長 ほかにございせんか。

○森本副委員長 今までも観光で単発的にいろんなものが出てきたと思うんですけれども、過去

にも一般質問で観光客の流れとか、お話をさせてもらったこともあるんですけども、今回も備前焼のこととか、また過去でいうと大学生のツアーとかがあったと思うんですけども、やはり教育委員会も示したように、中期とか長期の段階で観光振興計画なんかを立てたほうが、議員に示していただいて、それをみんなで検討しながら進めていったほうがいいかと思うんですけど、そこら辺はどうお考えでしょう。

○田原まち営業課長 現在、観光振興計画というような形ではございませんが、総合計画あるいはまち・ひと・しごと創生戦略とかいった形では記載をさせていただいております。委員おっしゃるとおり、観光に関する備前市の方向性を示すような何らかの計画というものも必要ではないかと思っておりますので、今後検討をさせていただきたいと思っております。

○森本副委員長 過去のも含めて、現在されているのも含めてしっかりと目に見える形を出していただいて、この委員会でしっかり検討していったほうが、出したけどだめだったら、また引込める、また今度はこれをいくとか、そういうことをしていかないと、本当に今はこれが出て、みんなで協議をしてだめですとか、そういうことがずっと続いていると思うので、ある程度の計画表を提示していただいて取り組んだほうが皆さんの理解も得られるし、今後の備前市の観光の取り組みもわかると思うので、検討するじゃなくて、ぜひつくっていただきたいと思うんです。

○田原まち営業課長 委員おっしゃられることはよくわかるんですけど、国のほうの観光戦略についても、単発的な交付金であるとか、そういったメニューとか、そういったものが出てくる場合がございます。そういったものまでは把握はできない部分はあるんですが、基本的な計画等については、また作成をして御検討いただけたらと思っております。

○森本副委員長 はい、よろしく願いいたします。

○田原委員 じゃあ、まず今のことからですが、ちゃんとそういう計画をこの間も委員会で視察へ行ったとき、土岐市でしたかもちゃんをつくっとんよ。やはりそれをつくっておいて、国や県がある施策、ほんならこれをというような姿勢でいかにからぶらぶらする。国がこういうからというてふらふら、これが何とかというて、それはだめ。備前市はこうしたいというものをつくっておいて、国が施策を出したら、補助申請したりするという姿勢が第一ということを言うときます。ぜひ、そうしてください。

○田原まち営業課長 はい、そのような方向で考えてみます。

○田原委員 はい、期待しときます。

報告事項の2点についてお尋ねします。

まず、アマモサミットについてですが、私も大変随分引き込まれまして2日とも見学させていただきました。それで、2,000名の参加、それは大変素晴らしい全国大会だったと思っております。実行委員会の努力を多とします。

そういう中で、全国から来てくれたんですけどもというて、民宿の人たちは、余り宿泊もなかったというようなことで、宿泊は赤穂とか、高校生は当然閑谷学校へ泊まったんかもしれんけ

ど、やはりせっかくそれだけの人がおるんだから、観光協会なりそういうところともタイアップして、宿泊は地元でお願いするとかというようなことを考えてほしいなと思いました。これは、単なるまち産業課の事業だけじゃなしに、インターハイがあるとしたらインターハイのお客についてもそうだろうし、実行委員会のメンバーの集め方について、その辺を配慮した実行委員会組織をつくっていただきたいなと思いますが、まずその件についてお願いします。

○小川まち産業課長 委員おっしゃるとおり、宿泊される方の多くが、赤穂の東横インというところであって、バスをチャーターして送り迎えをしておりました。備前市の中にはそういう大きなホテルがないというのも一つの原因かもしれませんが、今後委員の御意見を参考にしていきたいながらちょっとずつでも考えていきます。

○田原委員 ぜひ、そんな工夫をしてください。

私たちもそういう大会に行くと、立派なホテルじゃのうても地域の料理が味わえるところとか、そういうところを期待するもんですわ。その辺は、大会本部のほうへのアピール度が必要じゃないかと思いました。検討ください。

それから、もう一点、来年は、伊勢志摩のようです。それで、今回、もう日生の漁協、要するに日生のアマモは、とにかく全国区になった。世界的にもとにかく有名になった。恐らく来年ということになると、日生中学の子供たちの参加ということも当然考えんといかんと思うんで、単なるスポーツ大会の補助金、全国大会、1人5,000円というようなことじゃあ、なかなか参加しにくいんじゃないかと思うんで、その辺も次年度への申し送りとして、これは総括するんでしょうから、その辺の検討もして、ことしの終わりにしていただきたいなと思います。高校生の問題もありました。結構、高校生も活躍していましたが、今後引き続きやるならその辺のことを考えていただきたいと、これは要望です。

もう一つ、上水道の件ですが、工事中のようですが、現状で市民生活には不自由はないんですか。

○藤森上下水道課長 今は仮設のポンプで対応しております。

○田原委員 そこは工事中でも動いとるわけね。

○藤森上下水道課長 はい、水は流れます。

○田原委員 はい、わかりました。

○山本委員長 ほかに。

○田原委員 この間一般質問をさせてもらいましたが、鹿久居島の件ですが、まほろばや中央園地まで道を整備せんといかんのじゃないかという提案については答弁がなかったんです。答弁がなかった中で、一体的整備を考えておって、議員が記念公園の予算を否決したから、もう今後考えんのだという答弁です。そんなことは、ほんまにあり得るんかな。何で反対したかという理由を聞いたら、こちら側で答弁する内容じゃないということで一切反省がないということなんじゃけども、市長はそういう答弁ですけども、担当としてはどういうふうに解釈されとるんでしょう

か。市長と同じですか。

○平田まち整備課長 鹿久居島の環境公園化構想でございますけども、もともと町時代にあった構想をベースに若干の加筆修正をして図面をつくったわけなんですけども、本当に、これからの計画を立てていく上でのたたき台というぐらいの感覚でこちらとすれば資料をつくったという段階でございます、具体的にそれどういうふうに計画として実施に向けて進めていくのかというような踏み込んだ議論というものは、まだ庁内でもほとんどなされておられませんし、そういった意味もちょっとなかなか委員の御質問に対しても、我々担当ではお答えのしようがないというのが現状でございます。

○田原委員 そういうレベルであそこへ野外ステージをぼんと持ってきたから、私たちは時期尚早じゃないか、全体計画がない中でそれはおかしいんじゃないか、いきなり1億円単位の事業をするのには余りにも拙速じゃないか、補助金を考えると、そういうこともしたらいいんじゃないか、駐車場もなかったとかというようないろいろな理由で議会側はストップをかけたわけです。その反省がなかったら、それで議員が反対したから今後一切考えんというような理屈は通らんとするんです。いかがでしょうか。まあ、そういうことを一応は提議します。

あわせて、一体的な整備を考えておったのであれば、あの林道計画はいかがですか。これは担当レベルじゃないかと思うんですけど。中央園地は県の施設だから、県知事さんと懇意な市長さんなんじゃからあそこまでは何とかしてくださいよと県知事さんと話をして中央園地まで通行できるようにしてはどうかという提案です。

○星尾日生総合支所長 この件につきましては、以前も委員からそういうことを聞いておりました。それで、私は個人的に県とも林道の担当者へお話をさせていただいて、いろいろどういったハードルがあるかというようなことはちょっと調べたことはあります。その中で、やはり中央園地は、あそこへ何かを持ってこないとなかなか県が動いていただけないのと、それと幅員がちょっと、林道規定では何か3メートル以上要るらしいんです。それは、3メートルないところもかなりありますし、国有林でもありますし、保安林でもありますし、それから国立公園の第3種ということで、なかなかハードルの高いところがあります。なかなか何らかの形がないと進みにくいかなとは思っております。

○田原委員 そうなんです。それでも、中央園地の前には、県が三十数億円かけた海洋牧場もあるわけです。市も県に対してその負担金を出しとるわけです。そういうことも理路整然と追及すりゃあええし、いきなり私はあそこを林道にして整備せえということまで言いません。やはりそれには手順があるし、まず林道認定だけしてでもろといて、待避所をつくっていくとかというような形で自分ところの懐ぐあいに合わせてちょっとずつしたらええんで、何もせずに議員が反対したからせんのかというのとは理屈に合わんのかということですので、ぜひ真摯に受けとめてください。

もう一つ、市長さんは光ファイバーが設置されたことからサテライトオフィスの候補地として

検討しよるということじゃ。どこまで検討できとん。

○田原まち営業課長 頭島の空き家とかについては、そのサテライトオフィス等で使っていただけるような登録を県等にさせていただいております。

また、鹿久居島に関しましては、一度検討はしましたが、造成費等の関係で非常に高くつくんじゃないかということで、まだ検討中ということです。

○田原委員 すぐせえということじゃない。夢を語るんなら夢を語ってみんなでそれに近づけましょうと。私たちが議員ですから、反対は反対するけど、賛成は賛成とするんですから。それをいきなりぼんと出して、これを認めなんたら今後一切考えんなんてというような強引なことはやはりおかしいんじゃないかなということを使うとんで、時期を失したと言われるんかもしれんけども、一体的に包含した施設を考えとる素案を出してくれたら、反対した議員にも反省してもらって賛成に回ってもらうようにするが、教えてくれたら。何も言わずにいきなりぼんと出してくるから。やはり根回しというのが要るんじゃないかな、何にでも。

そういうことなんで、何でもかんでも私は反対するということじゃないということだけ言うて、出せるものは出してください。応援させてもらいます。

○田原まち営業課長 その都度御相談させていただきたいと思います。

○山本委員長 ほかに。

○田原委員 商工行政について取り上げていただきたいと思うんです。

先ほどの予算審議では、陶友会に対しては、とにかく大変な手厚い補助のようですが、陶友会を含めた全商工会議所とかに対しての手当てについて、私は不満足なものじゃないかと思っております。去年の12月17日に、議長宛て、平成28年度備前市補助金に関する要望というものが出ております。そういう中で、まず今当初予算で1,000万円の補助金が可決されておりますが、その支給がどうなっておるのか、お尋ねします。

○田原まち営業課長 現在のところ、商工会、商工会議所と協議を行っておりますので、まだ分配の金額については定まっておりません。

○田原委員 商工会、商工会議所、統一的な要望書は出ておりますが、予算要望については、それぞれ別個に申請が出とると思うんです。別々に申請が出とるものを市のほうが1本にして1,000万円じゃと出しといて、あとどう処理するつもりなわけ。

○田原まち営業課長 補助金申請というのは、まだ正式にはいただいてはおりません。

○田原委員 申請じゃなくて予算要望のときには、別々に要望されてないかな。

○田原まち営業課長 申しわけございませんが、予算要望の書面というのを把握しておりません。

○田原委員 私が聞くとおるところによれば、1,000万円の予算をつけたんじゃから商工会と会議所どう協議して分ける。前回半々だというたら、市の担当から、500万円にする根拠を述べよと言われて困つとんだというふうに苦情が来とんですけども、それはどういうふうに行政指導

しとんかな。

○田原まち営業課長 補助金でございますので、何に使われたかといったことを明確にしていた
だきたいというような形でお願いをしております。

○田原委員 そんなことを言ようたら相手に対して失礼じゃろう。ちゃんと決算書も出て、来年
度の事業はこうするんですというて商工会議所からも商工会も要望書が出とるわけじゃろ。にも
かかわらず、市のほうは、ぼんと1,000万円、それも一括で出しとるわけ。

そこで、委員長、提案したいんですが、私たちも、ことしの3月、商工会へ勉強に行かせても
らいました。それで、予算書や決算書を見せてもらったりする中で、市が出している補助という
のは、要するに経営指導員とかいうような人件費を含めた小規模事業対策ということに特化して
いるんだという理解をしたわけです。商工会は商工会としての仕事、会議所は別建ての別途会計
でもってそれを充てておるんだと説明を受けた。それで、それを一般質問で聞くけども、会議所
の会頭をしとるから、自分が一番詳しいんじゃないかとぼんと蹴ってしもうた。聞いたかったのは、そ
ういう勉強をせんといかんのじゃないの。決算書を見たら。

そういう中で、減額が始まった25年度を基準とした適切な補助金に戻してあげるべきだと。
それは、10億円の商品券をカットしたその財源が3億円か出てきたじゃないですか。経済を
立て直そうとするならば、陶友会を含んだ備前経済を支えている商工会議所なり商工会、そうい
う団体の特に経営指導をするような人たちのための手だてをする予算のはずなんです。そういう
説明が来とろう。同じようなものをもろとんやろ。それから、まして会議所の三役と商工会の三
役が来て、市長ともその辺の話を、詰めた話をしとるわけ。にもかかわらず、前年並み1,00
0万円とぼんと突き放すような行政はおかしいんじゃないかということで、ぜひ議会としてその
辺をよく考えてほしいという決議を委員会で決めましようや。執行部にちゃんと正面から商工
会、商工会議所とよく協議してくださいという議会の申し入れを提案したいと思うんですが、い
かがですか。

○山本委員長 ただいま田原委員より、備前商工会議所並びに備前東商工会への補助金の適正化
の決議が提案されました。委員会でどのように取り扱いましようか。

○尾川委員 それは確かに大事な話なんですけど、私はいつも岡山セラミックスセンターの話を
するんですよ。だから、商工会議所は要望が出とるけど、OCCなんか、こんなことまで言うた
らいけんけど、もう出さんと言うたんですよ。ほんなら、執行部のほうとしてはほっときゃあえ
えかもしれんけど、やはり私は持論じゃけど、備前市ならもう耐火物でもっとる、ベアリングも
あるけど、労働者数からいうても、それは市外から来とる人が多いけど、その辺のその地盤にな
る技術面からしたら研究開発費というのは遊びみたいな感じがするんですよ。大体みんなもいろ
いろ感覚を持っとんやから、やはりそれを超えて投資していかんだら、私の持論なんですわ。
だから、耐火物の会社なんかでも、研究開発ができん会社というのは、もう落ち目になるん
ですよ。それももうねえところは。廃業になったり、そういつたら、次の人が買うてくれたりするよ

うなことになるんですけど、それは栄枯盛衰があるわけですけど。だから、そういう面で、これも確かに大事な話なんですけど、ただ疑問なんですよ。どんどんどんどん、それは決算が苦しいから補助を減らすと、それも一つの考え方なんかわからんけど、そう単純に考えるべきじゃねえというふうなことを執行部と市長に言わにゃあいけんのでしょうけど、そのあたり、今田原さんが言われるように、もう決議を出すべきじゃと言われるんですけど、もっと総合的に。私らは、セラミックスセンターに期待して、何か新しい技術開発、それもいろんな意見がありますし、研究開発して新しいものを何とかつくり出してくれという期待感と、いわゆる備前市が何の産業を主にしてこれから生きていくかということ。レストランもええです。観光客が来るんもええ。だけど、それだけではやはり基本になるもんがないんです。だから、商工会議所もそういう中小企業の商店のいろんな相談を受けたり、指導したり、大事なんですよ、それは。それが、何かなしに切って切っていくというふうな。だから、備前市が将来にわたって何で食べていくんかというのを、これをやはり考えてもらわないと、そこらは経営計画というか、今さっき観光の問題も出てきたけど、そういう問題があると思うんです。観光だって、観光協会の問題が出てきとるけど、土岐市も観光協会を市が持つとんですよ。知っておられると思うけどね。市が持つとるところ、結構あるんですよ。観光協会を持ってやりよるところが。そういうことをどうあるべきかというのをもっと考えてもろうて、ちょっと話がもげとんですけど、そういう感じがあつてやるんなら、そこまで入れてもろうて、やってもらいてえなあと思うんですけど。

○山本委員長 どうなですか。

○田原委員 赤字じゃないというけど、団体の決算というのは、黒字にしますよ。せんといかんのよ。責任上。団体を運営するとは、赤字赤字でできんわけじゃから。それを黒字だからということで出さんというような考え方はおかしい。

それで、セラミックスセンターの話も出ました。そりゃ、当然センターのこともやらんといけませんけども、まずこれを提案をさせてもらったんで、これに文言を追加して、地場産業の育成というようなことも含めた形で執行部にちゃんとすべきだという決議を委員会としてしてもらえたら、委員長から本会議に提案してもろたらええし、いやこれはこの委員会では難しいということになったら本会議で私は同志を募って提案させてもらいます。それを皆さんに諮ってください。文言は、少し変えても構いません。

○石原委員 おとといですが、厚生文教委員会で陸上競技場の整備を求める決議案だったんですけども、今回は、商工会議所関連のということで、僕も、この件について、現地も訪問させていただいたり、お話も伺って思いは同じなんですけど、一つ一つの案件についてを議会として、委員会として一つ一つのことに決議をして、ぜひ予算化してということが、果たしてどうなのか。

また何回も総務産業委員会も開いて、この日は、もう商工関係全てにおいて議論して、その中で、これも入ってくると思うんですけど、どういうことを優先的に求めていくのかということ。だから、思いは同じなんですけど、一つ一つのことをこういう形で決議にというのがどうな

のかなという思いが。

○山本委員長 引き続きやってしまいますか。

〔「休憩しましょう」と呼ぶ者あり〕

休憩します。

午後0時02分 休憩

午後1時00分 再開

○山本委員長 それでは、休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

○平田まち整備課長 午前中の議案第84号の審査における答弁の中に若干錯誤がありましたので、訂正をさせていただきます。市営企業団地の契約関係のところで、最低制限価格の範囲を85%から86.5%の1.5%だというふうに申し上げていたんですけども、現在制度が変わっておりまして、85.5%から86.5%と1%に変更になっておりました。訂正させていただきます。申しわけございません。

○山本委員長 申し出のとおり発言を訂正いたします。

それでは、休憩前の商工会議所の件について。

○田原委員 尾川委員からOCCも含めてとか、石原委員から所管の全ての補助金について一度精査してはと、そういうなこともありました。今回は提案の趣旨にありますように去年の暮れに出ております市長及び議長に対する要望書についてということで、こういう文言にさせていただきました。

それで、請願書にされたらというような提案もしてみたんですが、そうなってくると、どなたが紹介議員かというようなこともあるんで、もちろんここで了解がいただければの話ですが、むしろ所管の委員長名で本議会に提案していただけたらどうかなというふうな趣旨でございます。それで、この中で異論のある方がおられれば、もう本議会で同志を募ってさせてもらおうと。ただ、商工会、商工会議所にしっかり補助金をというのは大方の了解がいただけるんじゃないかと思えます。だから、やはり委員長名にしたんが一番格好ええんじゃないかなと思っております。

○山本委員長 こういった意見もあるんですけど、皆さんはどう取り計らったらええと思われませんか。

○守井委員 当然補助金については、いろんな減少傾向というようなことは十分お聞きいたしております。そういった中で、今年度も昨年並みということで予算づけがなされております。以前から商工会、それから商工会議所のあり方については全国でもいろんな事例があるというようなことも伺っておりますし、この補助金の根拠というのが、小規模企業振興事業というのが、国、県の事業か、あるいは市が当然補助金として出していかなければいけない事業かなどについて、もう少しよく研究する必要があるんじゃないかと思っております。全国の事例からいたしまして、備前市よりも補助金が少ない事例もあるというふうなこともお聞きしたり、絶対的に補助金を出さなければいけないものなんかどうかといったあたりも、もう少しやはり慎重審議したほ

うがいいんじゃないかと思います。市の財政の状況によってその商工会との協議で補助金が決まってくる性質のものなのか、あるいは全国的にある程度統一的に補助金を出さなければいけない補助事業なのか、その辺をもう少し精査したいなというのがあるんで、一度この件についてだけ、委員会で調査していただければありがたいという感じで、今回についてはそういう研究の時間が欲しいと私は思います。

○田原委員 もう、それならいいです。異論があるんなら、全会一致にならんのかなから、もうよろしい。仲間を募って本議会で皆さんに訴えます。それで、結構です。もう、商工会や商工会議所に対しても、請願と言ったらよだつんで、この文章でよろしいかということも話をした中で出しとる案ですから、異論があるんなら、もう反対していただいて結構です。一応、ルールだけは踏ませていただきました。

○石原委員 この件に関して、僕も異論はないんですけど、昼前にも申したんですが、個別のことに対して議会としての意思表示のあり方。

それから、来年度の予算づけに向けての恐らく要望だと思うんで、今6月議会なんですけど、じゃあ例えば9月議会にはほかのことも精査して、その中で優先順位といいますか、しっかり見きわめた上でその他のことも含めていくのがいいんじゃないかなと。9月議会の例えば提案を目指してというか。

○山本委員長 これは、ことしの予算の話じゃわな。

○田原委員 要するに要望が来とんだから、的確に答えろというんです。大体、この6月補正っていうのは、新たな話がどんどん出てくる、予算編成上言うたら。大体3月議会で積み残した事業とか、そこで新たに国・県の補助がついた事業とか、そういうようなことを中心に当初予算を補完する予算というのが大体この6月には出るんですわ。そうじゃなしに新しい予算がぼんぼん出てくる中で、いかなものかということです。大体9月議会、12月議会では来年度予算についてのいろいろな提案をするのが年4回の議会の一つの流れなんで、石原委員、そういう意味です。今年度か、来年度か、とにかく28年度予算について対処すべきだという予算編成権のない議会側の唯一の執行部に対する意見です。

〔「ちょっと、委員長、暫時休憩して」と呼ぶ者あり〕

○山本委員長 暫時休憩します。

午後1時09分 休憩

午後1時21分 再開

○山本委員長 休憩前に引き続き委員会を再開します。

今回の田原委員の提案は、残念ですけど、次からはみんながまとまっていけるように、委員会としてもきっちりただの一つでもするようにということ。

〔「仕方ない」と呼ぶ者あり〕

○田原委員 はい、もう一つ提案をさせていただきます。

市庁舎建設問題に関する調査特別委員会の設置について、要するにこの間の委員会で話がありましたように、庁舎の問題は、議会全員の特別委員会でやったほうがスムーズにいくんじゃないかということでの提案です。

○山本委員長 前回の続きで市役所建設問題に関する調査の特別委員会設置案が出されております。

御意見を聞かせてもらえたらと思います。

○守井委員 ちょっとわからないところがあるんですけど、もしこういう形になったときの予算の関係はどうなるんかがわかれば。予算は分科会でやっとするんですが、庁舎建設に関する予算については、仮に特別委員会ができたときはどうなるんです。

○山本委員長 休憩します。

午後1時23分 休憩

午後1時37分 再開

○山本委員長 それでは、委員会を再開します。

ただいまの件ですけど、特別委員会を設置することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。

それでは、そういうことで、議長を除く議員全員でということ。

名称ですけど、市役所庁舎問題に関する調査特別委員会という名前が、もっと短いほうがええんかな。どんなですか。

名称は市役所庁舎建設に関する調査特別委員会でもいいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、そうさせていただきます。

それでは、ほかに何かありますか。

○石原委員 観光行政についてなんですが、備前観光ツアー促進補助金ですか、始まっておるんであれば、取っかかりの反応といいますか、状況といいますか、御説明いただければと思います。

○田原まち営業課長 6月ぐらいからエージェント向けに情報を東京事務所、大阪事務所、岡山観光連盟を通じて、発信して募集しております。たしか記憶では、現段階で100万円弱の申請が出てきていると思います。

○石原委員 それから、地域振興活性化事業費補助金でしたか、当初予算で2,000万円がついて。それも提案説明では、2,000万円の枠の中で決まっておるものもあるけれども、その他のところは申請を受けた後に審査会のようなものを立ち上げて、協議、審査していくということだったんですけど、これについて何かこれまで動きがあったのか、またその審査会等の内容、予定等についてお教えいただければと思います。

○田原まち営業課長 その関係の補助金につきましても、6月から6月末までの募集期間ということで、公募をいたしております。現段階で、直接申請書が出ているのは3件、それでお問い合わせは五、六件受けていると担当からは聞いております。

また、審査会なんですけど、7月に入ってから開催するように考えております。

○石原委員 募集期間が1カ月ということで結構短目、それから申請件数の動きをお聞きしても少々少な目のようなんですけど、もし仮に少なければ、まだ募集期間の延長なんかも想定されるんでしょうか。

○田原まち営業課長 そのあたりは、募集状況を見て、全くその反応がなければ追加募集ということも考えてまいりたいと思います。

○石原委員 それから、確認といたしますか、状況をお聞かせいただければと思うんですが、宅地政策で、昨年の9月議会でしたか、議論が分かれた中で、市内3カ所の調査の費用が認められて、同僚議員のどなたかも一般質問でお尋ねになって、まちづくり部長からの御答弁で、調査は終了して、現在精査中ということだったと思うんですけども、特に伊部地区が争点となったわけですけども、名称が、たしか適地調査ということで、そういう名目での予算が計上されておりました。調査費に対しては、例の旧アルファビゼンの調査費、計上されて調査が行われて、そこから細やかな議論が始まるんかと思うたら、いきなり調査終了と同時に大方針が打ち出されるというような流れもありまして、調査費用についてはそれ以降大変警戒を強めております。調査が終わったということは、それぞれの3カ所の宅地が適地かどうかというところの判断、精査が行われていると捉えとったらいいんですかね。

○平田まち整備課長 団地造成についてなんですけども、昨年度、調査業務を実施しまして、この中で、要は概略計画を策定しております。場所が3カ所ございまして、適地調査というよりも、どちらかといえば、もうこの3カ所ありきで、その3カ所についての造成の計画というものの概略を作成したというような内容です。お話の中でもありましたけども、伊部東と、それから吉永で2カ所。1つは、旧吉永病院跡地、それからもう一つは町時代から分譲地として持っていた団地なんですけども、場所であれば岸ノ下というところで、金剛川沿いの箇所でございます。この3カ所について、区画割りですとか、中の道路整備などを計画して、それぞれに何案かずつ、複数案をつくっていただいているという状況でございます。

これを踏まえて今後どうするかという話になるんですけども、今回お出ししていますように、まずはつつじが丘に手をつけたいと、地権者の方の合意が得られそうな状況になっているので、また全体が団地整備できている中でそこ1カ所だけぽつんと残っているような状況なので、これは優先的にまず手をかけていきたいと考えております。ほかのものにつきましては、やはり今後の状況を踏まえながらこれから検討していくという段階でございます。いきなり予算が出てきて、いきなり事業着手というようなことを懸念されているんだろうと思いますけども、ある程度そうした事業化をしていく過程で、我々としてもその都度御報告もさせていただき、いろいろと

御意見も頂戴しながら進めたいというふうには考えておりますので、御理解いただきたいと思
います。

○石原委員 ありがとうございます。

最近の総務産業委員会の傾向としましては、幾らか事前に新規の取り組みについては、その都
度情報提示がなされたりということで、好ましい傾向にはなりつつあるのかなということなの
で、この件に関してですが、宅地調査の費用を認めるか否かを問われたときに、そのときの議
員、委員の意見としては、記憶しているのが、このたびの調査は、ここでは宅地問題解決に向け
ての調査は認めるけれども、その後の流れは、しっかり慎重に、まずは公有地であいとる、例え
ば大内市営住宅の跡地であったりというところ、ここでは調査はされても、いきなり突き進むん
じゃなくて、まずは目を向けるのはそういう備前市が所有しておる公有地から進めるべきですよ
というような進言もつけられて、予算も認められたとたしか思いますんで、そのあたりしっかり
優先順位をつけられて、少しずつその都度可能な限り情報も提示もいただいて進んでいただきた
いというお願いをしときます。

○平田まち整備課長 御意見を踏まえまして、しっかり検討しつつ、またその過程でいろいろと
御協議はさせていただきたいと思ます。

○石原委員 はい、よろしくお願ひします。

○山本委員長 ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、これもちまして総務産業委員会を閉会いたします。

長時間、御苦労さまでございました。

午後1時51分 閉会